

## 県産材の需要と供給を一体的に創造しよう!!



■表紙写真 題名：富士ひのきと登山道 撮影地：富士市大淵 撮影者：平井敏夫氏（富士市）

本誌のバックナンバーは、静岡県山林協会ホームページでご覧いただけます。  
ホームページには、林業への就業を考えている方の参考になる記事も掲載しています。

URL：<https://www.moritohito.jp>



## INDEX

2・3

事業体等取材 No.12 (NPO法人時ノ寿の森クラブ)  
廃村から31年後に始まった森林再生の物語  
～いのちの森を未来へ～

4

支部だより① (浜松市 林業振興課)  
東京2020大会関連施設での天竜材使用実現！  
～ただ、天竜林業の復権は道半ば～

5

支部だより② (清水町 産業観光課)  
みずのまち 清水町

6

県庁だより① (経済産業部森林・林業局 森林整備課)  
第2世代精英樹から選抜されたエリートツリーの安定供給に向けて

7

県庁だより② (くらし・環境部環境局 自然保護課自然公園係)  
南アルプス植生復元活動について

8

本部情報・イベント予定紹介  
令和元年度の治山・林道等の優秀工事が決まりました  
講演会のお知らせ

### 別冊折込

第36回しずおか森林写真コンクール受賞作品  
令和元年度治山・林道等コンクールの優秀工事

# 事業取材

● No.12

## 廃村から31年後に始まった森林再生の物語 —いのちの森を未来へ—

ときのす  
NPO法人時ノ寿の森クラブ

未来の子どもたちへ、ふるさとの森を豊かな姿で引き継ぐため、様々な活動を行っているNPO法人時ノ寿の森クラブを取材しました。

### はじめに

掛川駅くらみから車で30分ほどの山間部、掛川市倉真地区に「NPO法人時ノ寿の森クラブ」の活動拠点があります。新東名高速道路がすぐ近くを走り、市街地からもそれほど遠くなく、険しい山道をたどることもありません。行こうと思えば気軽に行ける、そんな身近な里山にある森林も、今でこそ、日の光が入り、林床に下草が生え、広葉樹も育つ素晴らしい森林となっていますが、かつては荒廃していました。この森林を蘇らせたのが他でもない時ノ寿の森クラブです。

現在は、倉真地区に限らず、市街地や海岸部の植樹なども行い、さらには、「森のようちえん」やゲストハウスの運営、間伐材をはじめとする森の恵みを使用した商品の製造販売を行うなど、その活動は多岐にわたります。それらの活動すべては、未来の子どもたちへ「いのちの森」を引き継ぐために行われています。クラブの設立から現在、そして未来について、理事長の松浦成夫さんにお話を伺いました。



▲会員による散策路づくり

### 廃村31年後に、再び山に人が集まった

時ノ寿の森クラブの拠点があるところには、かつて「大沢」という集落がありました。「時ノ寿」とは、集落周辺の字名です。松浦さんはこの大沢集落で生まれ育ちました。

「東京オリンピックが開催された1964年には12戸が大沢に暮らしていました。そのうちの1軒にカラーテレビが入って、集落のみんなで開会式を観たことを覚えています。当時は子供もたくさんいました。」

地域の主な産業は、炭焼き、お茶、林業だったと言います。まだ市街地の店や家庭で薪や炭を燃料としていたところが多くありました。しかし、オリンピックの頃から急速に人々の生活は変化していきます。エネルギーが石油や電気になり、家電製品が普及し、LPガスも広がります。地域を支えていた産業の一つが無くなるに伴い、その頃を境に過疎が始まりました。1戸、また1戸と山を降りて行きます。そして、最後の1戸が山を降り、1975年に大沢は廃村になりました。最後の1戸は松浦さんの家でした。山を降りた後も、松浦さんは両親と共に茶畑の手入れのため、山に通い続けます。しかし、通う中で、年々森林が荒廃していく姿を見ることになるのです。真っ暗な森、生い茂る竹林、土砂で埋もれていく川…。

時は流れて1996年、松浦さん夫妻は山でお茶とお米を作り始めます。と同時



▲松浦理事長

に、故郷の森の荒廃を憂い、「炭焼きルネサンスの会」と名付け、炭焼きも始めます。これが、「時ノ寿の森」の再生に向けた小さな一歩でした。10年ほど活動したところで、個人で炭焼きを続けても、森林が荒れてゆく自然の威力にはとてもかなわないと感じたと松浦さんは言います。

「炭焼きでは、以前の姿を取り戻すような森林保全にはとても至らないと感じました。活動していた10年の間にもどんどん山は荒れていきました。もっと人間が山に入らなければいけない、そう思ったのです。そこで、団体を作って本格的に森林を守る活動をしたいとの思いで、2006年9月に任意団体として『時ノ寿の森クラブ』を立ち上げました。」

まずはこの山の木を使った山小屋作りをしようと、有志19人でスタート。資金は松浦さんが出し、約3年かけて完成したと言います。現在、この山小屋は「森の駅」という名前でゲストハウスとして供用しています。誰でも宿泊でき、研修などにも活用できる、木の温もりあふれる立派な山小屋です。



▲ゲストハウス森の駅

## 森の力再生事業を活用した森づくり

クラブ設立後、会員は増えていきました。しかし、任意団体の限界も感じるようになります。週末だけの活動で、会員全員が参加する訳ではありません。やれることは限られます。



▲森のようちえん



▲森の集会所

「社会に啓発していくには、現場の変化が絶対に必要だと私は思いました。現場の山が目に見えて明るく再生されるには任意団体のみで続けていくので時間がかかると感じ、技術や機械力を持つ企業とコラボすることが必要だろうと思ったのです。しかし、企業とコラボをするにも資金が要る。私の資金は山小屋づくりで手一杯。自分の山だけでなく他の人の山も明るく再生していくためにはどうしたら良いのかと思った時に、森林づくり県民税による森の力再生事業に出会いました。」と松浦さん。

2008年から、森林整備を行う林業事業体と連携し、所有者の取りまとめをクラブが行い、県への申請と整備を林業事業体が行うことにより、森の力再生事業による間伐を進めます。初年度は4.11haを間伐。翌年には21.64ha、翌々年には35.96haと毎年整備を進め、現在までに延べ440haの間伐を行いました。こうして、時ノ寿の森を健全な森林に再生することができました。また2010年にはNPO法人となり、さらに活動の幅が広がっていくこととなります。

## 市民参加の森づくりプロジェクト

クラブの森づくりは、山だけに留まらず、市街地や海岸域でも行っています。これが、掛川市と連携して進めている、市民・企業・団体・行政の協働による「命を守る希望の森づくりプロジェクト」です。

プロジェクトでは、2012年以降、海岸防災林や中東遠総合医療センター等で植樹活動を行っており、毎年、多くの市民が参加しています。

2019年6月末現在、これまでに植樹された苗木の本数は合わせて11万8千本余りにも上ります。

## 森と人を結ぶプラットフォームづくり

クラブでは、市民に時ノ寿の森に足を運んで森林の恵みや価値を実感してもらうため、ゲストハウス森の駅のほか、木の香るデジタルセンター「森の集会所」などを整備してきました。また、時ノ寿の森の自然を活かして子育て支援をする「森のようちえん」を週末に開催しています。

森林資源の利用では、「ヒノキ六角机」や「森の恵み石けん」の製造販売など、森の恵みの商品化・ブランド化を進めており、クラブの活動に共感した東京の建築士の働きかけで、時ノ寿の森の間伐材を一部に使用した家づくりも行われています。

## 時ノ寿の森を日本のモデルに

事業体との連携により実施してきた森の力再生事業ですが、これまで簡単に進めることができた訳ではありません。倉真地区は、1人の山主が持つ森林面積が平均して1ha以下で、小規模な所有が多くを占めています。不在村、未登記の山主もいます。このため、多くの山主と地道に連絡をとり、少しずつ理解を取り付け事業化につなげてきました。

所有規模に加えて、急峻な森林が多いことなどから、林業の採算性を確保することが難しく、結果として多くが放置され荒廃してきました。こうした地域は、倉真地区だけではなく、日本全国至る所にあります。

「時ノ寿の森は日本のモデルになり得ると思うのです。」と松浦さん。倉真地区のような山の整備をどうするのが、日本の森林保全において非常に重要な課題なのです。

「不採算の山も整備をしていかないと国土は保全できません。しかし、個人ではどうにもできない。そこに行政が入り、例えば森林環境譲与税を投入して整備していくことが必要なんじゃないかと思うのです。」

10年ほど前から、所有者に代わり、社会全体で森林を守り、利用する仕組みが必要ではないかと考えていたと言います。森林環境税、森林環境譲与税の登場で、世の中が徐々に地域の森林に目を向け始めています。これからの森林経営管理に新しい光が射してきたのではないのでしょうか。



▲明るく蘇った森林

# 支部 だより ①

## 東京2020大会関連施設での天竜材使用実現！ ～ただ、天竜林業の復権は道半ば～

浜松市産業部林業振興課 副主幹 藤江 俊允

東京オリンピック・パラリンピック関連施設での天竜材使用に向けた活動とその成果について紹介いただきました。

令和元年9月11日、サウナにいるような暑さの中、市長をはじめ、林材業関係者に見守られ、天竜材を積んだトラックが東京五輪の選手村ビレッジプラザに向けて出発した。

6年前には想像もできない光景だった。

平成25年9月、私は東京の定食屋で東京五輪の決定を知った。

当時の本市は、FSC森林認証を取得して約3年が経過し、認証面積拡大については順調だったものの、FSCがビジネスに繋がるかという向か



▲納材した天竜材

い風の中にいた（その年の予算要求時、認証更新費用はゼロ査定）。

ただ、この状況を東京五輪は吹き飛ばした。そして、本市のFSC森林



▲出発の様子（令和元年9月11日）

### 【浜松市の主な要望活動等】

日時	内容
平成26年6月～	市長要望活動／文部科学省、農林水産省、東京都建設局等に東京2020大会での天竜材の使用等を要望。その後も大手建設、設計事務所等に対し、積極的かつ継続的に実施。
平成26年11月	ジャパンホームショー出展／日本最大の住宅・建築関連専門展示会で全国に天竜材をPR。以降毎年出展しており、市単位での出展は本市のみ。
平成27年2月	IOCへ親書送付／浜松市長からIOC会長に東京2020大会でのFSC認証材使用を要望。その後回答有。
平成27年9月	天竜材セールスミーティング／市長が大手建設・設計業者、木材商社等との意見交換を実施。以降継続的に実施。
平成29年9月	選手村ビレッジプラザへの納材事業に応募。翌月納材が決定。

認証の取組の大きな追い風となった。

その後、本市は平成26年6月の国への要望活動を皮切りに、市長の積極的なトップセールスや様々な要望・PR活動等を実施していった。



▲山梨県知事と東京都への要望  
(市長左から2番目：平成27年1月9日)



▲天竜材セールスミーティングの様子  
(平成27年9月8日)

この要望活動等が、そして、これまで天竜美林を守り、天竜材のブランド化に携わったすべての先人たちの努力が実を結び、東京2020大会関連施設である選手村ビレッジプラザや有明体操競技場等に天竜材が使用されることになった。これは、今後の天竜材のマーケティング拠点としての活用が期待できる成果である。

ただ、直近の目標だった東京2020大会関連施設での天竜材使用が実現したものの、現在の林材業界はまだまだ厳しい状況にある。林材業界の景気が回復し、安心して関係者が働くことができ、天竜美林が持続可能に管理され、次世代に引き継がれる…といった状況は遠い。

ひとつの成果は積み上げたものの、まだまだ我々のやるべきことは多い。今後、この取組を効果的に活用し、天竜材の認知度向上や販路拡大等に繋げられるかが重要だ。

天竜林業の復権は、まだ道半ばである。

# 支部 だより②

## みずのまち 清水町

清水町 産業観光課



▲柿田川

柿田川などの豊富な湧水群と、それを守るために町域を越えて行われている森づくり活動について紹介いただきました。

### 町について

清水町は、静岡県東部の伊豆半島の付け根に位置し、東部地域の中心都市である沼津市と三島市に挟まれた県内最小の町です。町の中央部を狩野川が流れ、町を南北に分けており、南部には標高256mの徳倉山、標高75mの本城山を有しています。また東西に国道1号バイパスが横断し、その下から富士山の地下水が湧き出す柿田川は町のシンボルとも言える存在です。交通の要衝でありながら柿田川等の自然が混在する恵まれた環境にあり、暮らしやすい町として発展を続けています。

### ジオサイト

昨年は伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定され、清水町でも丸池、本城山、柿田川の3か所がジオサイトに指定され、大地や自然の恵みを感じることができます。

丸池は、その名の通り形が円に近いので「丸池」と呼ばれています。大型商業施設に隣接し、富士山の伏流水が溶岩の末端から湧き出しており、その水は柿田川の湧水と同質です。平地での豊富な湧水群は、灌漑用水として利用が容易であったため、町内7地区に灌漑する重要な場所として守り継がれてきました。現在は池周辺が整備され、住民の憩いの場となっています。

本城山は柿田川と狩野川の合流地点に位置し、伊豆半島が海底火山だったころの名残です。展望台からは伊豆半島と本州の衝突に伴う大地形や扇状地を一望できます。



▲本城山



▲丸池

柿田川は富士山周辺に降った雨や雪解け水が町の中心部で湧き出し形成された川で、わずか1,200mほどの短い川です。上流部では無数の水が湧き出る「わき間」が見られます。「わき間」では川床から湧き出す水で灰黒色の砂地が舞う様子を見ることができます。中流部では川幅も広く流れもゆったりとしており、富士山と柿田川の清流を同時に望むことができます。



▲わき間

### 湧水を守るための取組

湧水を守るため、町及び町内の自然保護団体のみならず、東部地域の9つの自然保護団体で「柿田川・東富士の地下水を守る連絡会」が設立され、近隣自治体や諸団体が協力しながら、富士山東南麓において毎年、植樹、下草刈、シカ食害対策などの涵養林育成活動を行っています。産・官連携し、すばらしい自然を守り、後世に残していきます。



# 県庁 だより ①

## 第2世代精英樹から選抜されたエリートツリーの安定供給に向けて

経済産業部森林・林業局 森林整備課

優れた形質を持ち、これからの造林の主役として期待されるエリートツリーと、その種苗の生産体制について、紹介いただきました。

### エリートツリーとは

本県では1954年から1968年にかけて、県内全域の森林を調査し、成長や通直性等が優れたスギ・ヒノキを選抜しました。これが第1世代精英樹で、スギが51系統、ヒノキが27系統あります。ここで選抜された精英樹の中から、環境条件の影響を受けずに良い形質を発揮できるもの、言い換えれば遺伝的に良い形質を持っているものを絞り込む作業は、1969年から始められました。具体的には、第1世代精英樹同士を掛け合わせた種子から苗木を育成し、実際に県内各地に植栽して調査を続けてきました。これが第1世代精英樹の次代（第2世代精英樹）の特性を検証する次代検定林で、ここから特定母樹を選抜しています。特定母樹とは、国が設定した成長量、材の剛性、幹の通直性、雄花着果性の基準を満たす優れた形質を持つと認めら

れたものを指定しています。静岡県では、現在、この特定母樹をエリートツリーと呼んでいます。

### エリートツリーの選抜

エリートツリーの選抜は2012年から始めました。特定母樹の指定基準として、材積が周囲の第2世代精英樹と比べ1.5倍以上、材の剛性が平均値以上、採材に支障がない程度に真っ直ぐで、花粉量が一般的なスギ・ヒノキの半分以下であることが求められます。静岡県森林・林業研究センターでは、研究員が山を歩き、毎木調査を繰り返して3,000本に1本程度しかないエリートツリーを見出してきました。

今後、県内の種子生産はエリートツリー中心となっていきます。県内の苗木がエリートツリーになると聞いて、人工林の均質化を心配される方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし、エリートツリーは、1系統だけでは

ありません。静岡県では、スギ25系統、ヒノキ25系統の選抜を目標としていて、現在スギが24系統、ヒノキが20系統、特定母樹として



▲外部花粉を防ぐために目張りしたビニルハウス

国から指定を受けています。種子の生産は、エリートツリー同士を掛け合わせて行うため、更に多様性は広がります。

さて、第1世代精英樹から50年かけてエリートツリーを選抜しました。このエリートツリーの次代の特性を検証する流れは続きます。第1世代精英樹と同じく、環境条件の影響ではなく遺伝的に優れていることを検証し、また次代に向けて改良を重ねていく必要があります。選抜と交配を繰り返す林木育種は今後何世代も続けられます。

### エリートツリーの生産体制

静岡県では、現在、ビニルハウスを活用した閉鎖型採種園でエリートツリーの種子を生産しています。雌花や雄花が開花する時期は、ビニルハウスを締め切って、外からの花粉を防ぎます。ハウス内のエリートツリーのスギやヒノキの雌花には、別の系統のエリートツリーから採取した花粉を綿棒等を使って人工的に受粉させます。選抜した優良品種を確実に交配することで、品質がより安定すると考えられます。このように生産したスギのエリートツリー種子は、平成30年度に約6万2千本相当得られました。この一部は令和2年度に山行コンテナ苗木として、初めて出荷される予定です。

今後も改良を続けながら、その世代の最良のもので造林できるよう、静岡県の林業発展に寄与する種苗生産体制を構築していきます。



▲ビニルハウス採種園でのスギの育成

# 県庁 だより ②

## 南アルプス植生復元活動について

くらし・環境部環境局 自然保護課 自然公園班

シカの食害により衰退した南アルプスのお花畑を復元するため、ボランティア団体と県が協働で行っている活動について紹介いただきました。

### 南アルプス国立公園

本県は、長野県、山梨県に跨る南アルプスを有しています。静岡県域の南アルプスには赤石岳や聖岳といった3,000m峰があり、カール地形と呼ばれる氷河侵食の痕跡が見られ、世界的生息域の南限とされるライチョウやタカネマンテマ等の高山植物が生息、生育しています。昭和39年に国立公園に指定され、さらに平成26年には、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）が登録を進めるユネスコエコパークにも登録されました。貴重な自然を守るため関係機関が協力しながら様々な取組を行っています。今回は、静岡県と、山岳団体等から構成される南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク（以下ボランティアネットワーク）が聖平で行っている植生復元活動について紹介します。

### 聖平の植生

聖平は、聖岳（3,013m）から尾根沿いを南側に下った標高約2,260mのところにある平地です。元々、針葉樹林帯が形成されていたものの、昭和34年の伊勢湾台風により大面積が倒木被害を受け、その後遷移が進むとともにニッコウキスゲを中心とした草本類が一面に生育するようになりました。また、聖平の北に位置する薊畑は、センジョウアザミ、ミヤマホソエアザミやミヤマシシウドを中心とした高茎草本群落で構成されたお花畑の環境になりました。



▲聖平ニッコウキスゲ群落（昭和51年 榑原氏提供）

### ニホンジカの影響

しかし、ニッコウキスゲを初めとした多様な高山植物が見られた聖平は、年々高山植物群落が発退するようになり、平成10年に高山植物保護対策検討委員会が行った調査ではニッコウキスゲが全く確認されず、イネ科草本が増加していました。また、薊畑では高茎草本群落がスゲ群落に変わりつつありました。検討委員会からは、これらはニホンジカが影響しており、対策が急務であると提言されました。

### ボランティアネットワークとの協働による防鹿柵設置

高山植物保護対策検討委員会からの提言を受け、平成14年に、県とボランティアネットワークは、協働で聖平及び薊畑で最初の防鹿柵を設置しました。その結果、柵内外の植生差は顕著となり、シカの食害が植生衰退の要因であることが改めて確認されました。その後、県は、平成19年と平成24年、平成25年に合計5つの防鹿柵を設置し、ボランティアネットワークの献身的な活動により現在に至るまで維持管理が行われています。



▲聖平（昭和61年 森氏提供）



▲聖平（平成30年）

聖平に設置された防鹿柵の中では、ニッコウキスゲが平成30年には432株の開花が確認され、かつてのお花畑が復活しつつあります。



▲平成25年設置防鹿柵（平成30年）

### 今後について

2,000mを超える高所での防鹿柵は、ニホンジカ以外にも雪圧との戦いになり、折損が発生するため毎年の維持管理が欠かせません。また、土壌が流出し裸地化が進行した箇所では伏工による土砂流出防止対策も行っていますが、厳しい風や食害等を受け土壌形成までに至らず、顕著な成果が現れていません。課題はまだ残っていますが、かつてのお花畑を復活させるため、今後も引き続き植生復元活動を続けてまいります。

# 本 部 情 報

## 令和元年度の治山・林道等の 優秀工事が決まりました

静岡県山林協会では、森林の持つ多面的な機能が適切に発揮されるよう、治山・林道・森林整備等工事の中で、施工技術の優れた工事や木材を積極的に工夫して使用した施工者

等を顕彰し、森林土木技術者の育成と施工者の技術向上を図る「治山・林道等コンクール」を毎年実施しています。

今年度も各農林事務所から優れた

工事等について推薦をいただき、審査の結果、治山工事の部12件、治山木材使用工事の部1件、林道工事の部5件の施工者に対して山林協会長賞を授与することとし、11月1日(金)に表彰式を行いました。

表彰された工事は急峻な地形や厳しい気象環境など施工条件が厳しい場所で、いずれも作業員の安全確保に十分配慮しながら、高い技術力を発揮された工事であり、工事関係者の皆様の日頃の御努力の成果が表れていることが高く評価されました。

部門	受賞者	施工地	工事名
治山工事	斉藤土木 株式会社	賀茂郡河津町川津筏場	平成29年度治山(予防)入山工事
	株式会社 木村組	静岡市葵区丸子	平成30年度治山(復旧)しだらく沢(29繰越)工事
	駿河重機建設 株式会社	静岡市清水区小河内	平成30年度治山(予防)宮ノ脇工事
	有限会社 キーオブライフ	静岡市葵区長妻田	平成30年度県単治山(県営)日影沢(29繰越)工事
	日本エルダルト 株式会社	烏田市志戸呂	平成30年度治山(地すべり)小鮎川(29ゼロ債)工事
	株式会社 三井組	御前崎市白羽	平成29年度治山(防災林造成)中西川左岸工事
	株式会社 鳶宗建設	袋井市湊	平成29年度治山(防災林造成)湊2工事
	天龍土建工業 株式会社	浜松市天竜区龍山町瀬尻	平成29年度治山(地すべり)下里工事
	森吉組 株式会社	浜松市天竜区春野町杉	平成29年度県単治山(県営)合羽大日(平準化)工事
	株式会社 西村組	浜松市天竜区春野町宮川	平成29年度県単治山(県営)畑木(平準化)工事
	天龍土建工業 株式会社	浜松市天竜区水窪町奥領家	平成30年度治山(復旧)宮ノ沢(29繰越)工事
	株式会社 渡辺兄弟工業	浜松市天竜区春野町川上	平成30年度治山(復旧)太田(29繰越)工事
治山木材使用	東静建設 株式会社	駿東郡小山町小山	平成29年度県単治山(県営)大沢(平準化)工事
林道工事	眞田建設 株式会社	裾野市須山	平成29年度森林基幹道裾野愛鷹線1工区工事
	有限会社 權工務店	富士宮市上稲子	平成30年度集落間林道整備天子ヶ岳線工事
	株式会社 山俊市川組	静岡市葵区長妻田	平成30年度道整備推進交付金権七峠線2工区工事
	株式会社 山田	掛川市上西之谷	平成30年度ふれあい林道整備大尾大日山線2工区工事
	株式会社 道林建設	浜松市天竜区佐久間町浦川	平成29年度道整備推進交付金地八吉沢線2工区工事

### イベント 紹介

#### 講演会「断固森林を守る」

講師：田島山業株式会社 代表取締役 田島信太郎氏  
 日時：令和元年11月27日(水) 15時～17時  
 場所：ホテルシティオ静岡5F  
 ザ・ガーデンシティオ(静岡市葵区伝馬町1-2)  
 問合せ先：公益社団法人静岡県林業会議所 054-252-4857

「森と人」 公益社団法人 静岡県山林協会  
 編集・発行 静岡市葵区追手町9-6 県庁西館9F  
 TEL:054-255-4488/FAX:054-255-4489



# 第36回

## しずおか森林写真コンクール受賞作品



### 最優秀賞

#### 富士ひのきと登山道

平井 敏夫 (富士市)

撮影地：富士市大淵



### 審査講評

審査委員長

竹林 喜由

今年度の応募総数は、383点、応募人員109名（前年度251点、74名）と、前年より応募点数で132点、応募人員で35名の増加となりました。

この増加理由としては、昨年度より応募サイズを四つ切から2L版に変更したこと、データーでの応募も可としたことが浸透してきたものと考えられます。

今回は、去る9月24日に8名の審査員により審査が行われました。

**最優秀賞**（静岡県知事賞）は、平井敏夫氏の「富士ひのきと登山道」に決定しました。

夜間の長時間露出により撮影されています。富士山とヒノキの林を組み合わせて、空には星を流し、登山道には登山者のライトの光が長く繋がるように写されています。

この作品は、撮影場所のロケハンから機材の選択など、事前の緻密な計画があつてこそこの作品です。

気象条件も良く、高度の撮影技術からも素晴らしい作品になっています。

**特選**（静岡県山林協会長賞）は、牧野光伸氏の「奮闘」と勝又守洋氏の「富士に根付く」の2点、**同**（静岡県グリーンバンク理事長賞）は、田中富氏の「跡継ぎ」に決定しました。

「奮闘」林業体験でしょうか、大人が丸太を押さえ、二人の子供が大きなこぎりを使って太い丸太切りに奮闘しています。

大人の真剣な表情と、子供の力のこもった姿勢や表情がうまく捉えられており、好感のもてる素晴らしい写真になっています。

「富士に根付く」富士山五合目の植林場所の風景です。

広大な斜面の植林事業ですが、普段何気なく眺めている森や林も大変な労力と資金が使われていることに気付かされます。平坦になりやすい風景ですが、カメラアングルと構図の捉え方でダイナミックな写真になっています。

「跡継ぎ」大木の切り株も朽ち果てようという状況の中で、新しい芽が力強く成長している様子をとらえています。

光線の捉え方や、構図の取り方もうまいですし、良い被写体を見つけました。

**準特選**（静岡県山林協会長賞）は、伊賀誠氏の「健やかに育て」、加藤義昭氏の「熟練作業」、藤田正男氏の「念入りの炭作り」、西口紀雄氏の「天然ひのき」の4点、**同**（静岡県グリーンバンク理事長賞）は、鈴木政雄氏の「大きく育て」に決定しました。

「健やかに育て」山の斜面に植林された苗木を、鹿などの食害から守るために一本一本カバーをかけて保護している状況をとらえたものです。

大きな森になるまでは手厚い人の保護が必要なことが良く理解できる写真だと思えます。

「熟練作業」切り倒した丸太の切り口を整えている状況でしょうか、チェーンソーの爆音が聞こえてくる迫力の作業風景です。

周囲を省略することにより、作業員と丸太の関係が良く理解できる写真になっています。

「念入りの炭作り」炭焼き窯から出した炭を共同で仕分けや整理をしている状況でしょうか、出荷するためには長さをそろえたり切ったりする作業が必要です。画面の良い位置に人物が配置されており作業の様子が良く理解できます。できれば一人でも、二人でも人物の顔が見られるとよかったです。

「天然ひのき」建築材などにするヒノキは真直ぐに成長させますが、このヒノキは自然木で、幹も二股になって、枝も出ています。

霧の中に佇むこの木には、自由に堂々と生きている力強さを感じられます。

作者もそこに魅力を感じて表現したのだと思います。

「大きく育て」この写真は、どのような事業なのか分かりませんが、一般市民の方々が桜かもみじの苗木を植えているように思えます。

この山が何年後かには花の名所になることを期待しながらの植え付け作業ですね。撮影のアングルも的確でよい写真です。

このほかに入選20点が選ばれましたが、いずれも力作で、どれが入賞してもおかしくない作品ばかりでした。

次回も多数の力作の応募があることを期待致します。



特選

奮闘

牧野 光伸 (浜松市)  
撮影地: 浜松市天竜区龍山町



特選

富士に根付く

勝又 守洋 (裾野市)  
撮影地: 御殿場市 富士山新五合目



特選 静岡県  
グリーンバンク

跡継ぎ

田中 富 (富士市)  
撮影地: 富士宮市西白塚



準特選

熟練作業

加藤 義昭 (浜松市)  
撮影地: 浜松市浜北区 県立森林公園



準特選

健やかに育て

伊賀 誠 (島田市)  
撮影地: 島田市川根町笹間



準特選

念入りな炭作り

藤田 正男 (浜松市)  
撮影地: 浜松市浜北区 県立森林公園



準特選

天然ひのき

西口 紀雄 (静岡市)  
撮影地: 静岡市葵区梅ヶ島 わさび沢上



準特選 静岡県  
グリーンバンク

大きく育て

鈴木 政雄 (磐田市)  
撮影地: 浜松市浜北区 県立森林公園

入 選



**森の恵みに育まれて**  
佐藤美栄子（茅ヶ崎市）  
撮影地：伊豆市



**霧につつまれて**  
鈴木 秀樹（川崎市）  
撮影地：駿東郡小山町立山



**ミツマタ群生**  
谷川多美子（磐田市）  
撮影地：浜松市北区



**森林育つ**  
高橋 正雄（富士市）  
撮影地：富士宮市 猪之頭林道



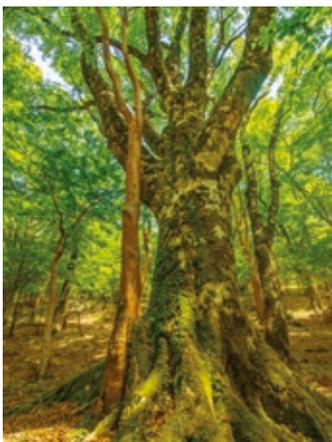
**親子で丸太切り**  
村上 雅已（静岡市）  
撮影地：静岡市清水区



**富士山の森林限界**  
野村 進（富士宮市）  
撮影地：裾野市 御殿庭上



**祭りの日**  
飯田 忠雄（静岡市）  
撮影地：静岡市葵区腰越



**自慢の相棒**  
藤井 昭浩（松崎町）  
撮影地：伊豆市 下り八丁池歩道沿い



**里山の秋**  
藪田 克予（西伊豆町）  
撮影地：伊豆市湯ヶ島



**新 緑**  
平井 健司（静岡市）  
撮影地：静岡市葵区 安倍峠

入 選



林 彩

後藤 正徳 (掛川市)  
撮影地：掛川市



土留め

吉田 峯治 (浜松市)  
撮影地：浜松市北区細江町中川



寸又川の紅葉

西村 茂雄 (小田原市)  
撮影地：榛原郡川根本町



朝霧の森に浮かぶ赤富士

宮崎 泰一 (富士市)  
撮影地：裾野市十里木



杉林の枡場

山本 均 (静岡市)  
撮影地：島田市川根町



森林ダム

中西 敬一 (静岡市)  
撮影地：静岡市清水区 加瀬澤林道



伐採作業

小松原 清 (浜松市)  
撮影地：浜松市浜北区 県立森林公園



雨上がりの山

土屋 敏彦 (裾野市)  
撮影地：静岡市清水区吉原



雨上がり

上野 祐司 (箱根町)  
撮影地：御殿場市東田中 長尾峠下



甦った山里の暮らし

山崎 俊泰 (掛川市)  
撮影地：浜松市天竜区春野町

# 令和元年度 治山・林道等コンクールの優秀工事（18工事）

## 受賞の皆様

### ◎治山工事部門

創意工夫と施工管理により質の高い工事を完成させたものや、徹底した安全管理を行ったもの、濁水対策により周辺環境の保全に努めたものなど、12件に表彰を行いました。



齊藤土木(株)  
河津町川津筏場



(株)木村組  
静岡市葵区丸子



駿河重機建設(株)  
静岡市清水区小河内



(有)キーオブライフ  
静岡市葵区長妻田



日本エルダルト(株)  
島田市志戸呂



(株)三井組  
御前崎市白羽



(株)鳶宗建設  
袋井市湊



天龍土建工業(株)  
浜松市天竜区龍山町瀬尻



森吉組(株)  
浜松市天竜区春野町杉



(株)西村組  
浜松市天竜区春野町宮川



天龍土建工業(株)  
浜松市天竜区水窪町奥領家



(株)渡辺兄弟工業  
浜松市天竜区春野町川上

## ◎治山木材使用工事部門

きめ細かな施工計画と安全管理を行い、質の高い工事を完成させた1件に表彰を行いました。



東静建設(株)  
駿東郡小山町小山



## ◎林道工事部門

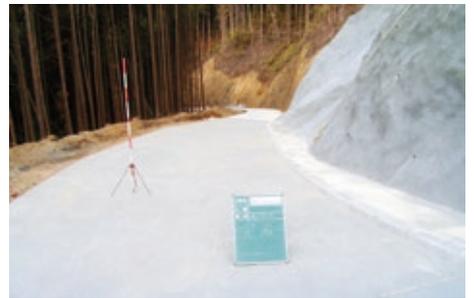
厳しい施工条件の中、安全管理を徹底し、質の高い工事を完成させたものなど、5件に表彰を行いました。



眞田建設(株)  
裾野市須山



(有)權工務店  
富士宮市上稲子



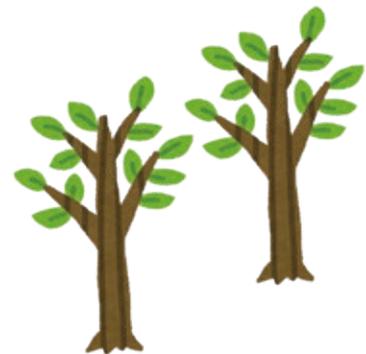
(株)山俊市川組  
静岡市葵区長妻田



(株)山田  
掛川市上西之谷



(株)道林建設  
浜松市天竜区佐久間町浦川



※来年度もより多くの工事等が推薦されることを願っています。(事務局)